

# 生活単元学習学習指導案

1 日時 令和〇年〇月〇日(〇) 10:35~11:20

2 場所 家庭科室

3 学年 知的障害特別支援学級

第2学年1名、第4学年1名、第6学年2名 計4名

4 単元名 「おやつパーティーをしよう」

5 単元設定の理由

○ 本学級は、第2学年1名、第4学年1名、第6学年2名の児童が在籍する知的障害特別支援学級であり、4名とも知的障害特別支援学校の教育課程を編成し、学習している。

児童の個別の実態は、次のとおりである。

A児	B児	C児	D児
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 表出言語は数語で、発音は不明瞭である。伝えたい思いは強い。</li><li>・ 友達への関心が高い。</li><li>・ 興味がある活動に意欲的に取り組めるが、活動に集中できる時間は非常に短い。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 簡単な問い掛けが理解できる。2~3語文での要求等の表出がある。</li><li>・ 友達への関心が少しずつ見られ始めている。</li><li>・ 興味がある活動に意欲的に取り組める。</li><li>・ 見通しがもてないことには不安感が強く、こだわりも強い。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 整理して伝えることは難しいが、自分の言葉で思いを伝えることができる。</li><li>・ 複数の手順を正確に覚えておくことは難しい。</li><li>・ 活動に意欲的に取り組めるが、曖昧な理解のときには、気持ちの切り替えが難しい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自分が伝えたいことを自分の言葉で伝えることができる。</li><li>・ 友達への関心が高まってきているが、関わりが一方的になりやすい。</li><li>・ 順番や活動内容などへのこだわりが強く、気持ちの切り替えにくいことがある。</li></ul>

4名の児童は、共通して、活動に集中できる時間が短く、活動中に気持ちが逸れたり、見通しがもてないことへの不安感やこだわりから、活動に自分から向きにくかったりする様子が見られるが、学習の流れや活動内容、活動順などを視覚的に示すことで、見通しをもって自分から活動に取り組むことができる。また、時間が経過すると自分が選んだものや活動してきた内容が曖昧になったり、自分が気になった点ばかりにとらわれたりしてしまう様子が見られるが、児童自身が作成したポスターなどで「見える化」することで、学習した内容や状況を想起し、学習への関心や意欲を持続することができる。学級での様々な取組を通して、児童同士で互いに意識し合い、関わるようになり、友達の様子が気になったり、友達の活動する様子を見て自分もやってみたくて意欲を高めたりする様子が見られるようになってきた。6年生の児童は、最高学年として学級の中でも役割を担いたいという思いや、年下の児童のことを気に掛けた振る舞いがしたいという思いをもち始めている。学級での役割を積極的に担ったり、まだ一方的な場面もあるが、年下の児童に対して誘い掛けたり、言葉を掛けたりする姿が見られるようになってきた。

これまでの生活単元学習の取組としては、野菜の栽培や季節を感じる製作学習、校外学習に向けた学習、お楽

しみ会などに取り組んできた。いずれの単元においても、児童が、自分たちで選んだり考えたりしたことが「一人でできた」、「友達と一緒にできた」と実感できること、そのことが自信や次の活動への意欲へとつながることを大切にしておこなってきた。

お楽しみ会では、「パーティーをしよう」として、魔法石パーティーに取り組んできた。手洗いや挨拶、着ベルなどの児童が決めた日々の目標が達成できたらシールを貼り、シールが貯まれば魔法石を瓶に入れ、貯まるとパーティーを計画する。どの児童も意欲や期待感を高めて取り組んできた。

- 以上のような児童の実態から、本単元「おやつパーティーをしよう」を設定した。これまでも行ってきた魔法石を貯めてパーティーを行うという方法は変えないことで、児童に見通しと期待感をもたせ、活動内容に広がりをもたせるために、「おやつパーティー」として調理活動に取り組む。

児童は、これまでの取組から、自分たちがやってみたいと考えた活動をみんなで実現できる場が「パーティー」であり、そのためには自分たちで役割を担って取り組む必要があることを意識している。それを「おやつパーティー」という新たなテーマで取り組むことで、これまでの経験を活かしつつ、新しい視点で考えたり、取り組んだりする姿を引き出すことができるのではないかと考えている。

「おやつパーティー」では、作るおやつや必要な係などは児童が決め、準備や調理もできる限り児童が分担して行う。作るおやつは、活動の目的や児童の実態から、1時間以内で完成するもの、分担したり協力したりできる手順があるもの、大さじやはかりで計量する活動があるものと考え、ホットケーキやクッキー、電子レンジで作るドーナツなどを選択肢として提示する。その中から自分が作ってみたいものを発表したり、児童同士で話し合ったりして作るおやつを決める。役割については、児童がこれまでの調理等の経験から必要な係を考え、自分たちで分担することで、「みんなで決めたパーティーを自分たちで行う」という意識をもてるようにする。6年生の児童については、全員で分担した役割に加え、レシピア係や司会、お助け係という全体の進行等に関わる役割を担うことで、自分だけでなく学級全体を考えながら取り組むことができるようにする。

本時は、調理活動に取り組む場面に当たる。児童は「おいしい」おやつを作るために、みんなで一緒に作り、出来上がったときにみんなが笑顔になることを目指して調理に臨む。児童が、自分の役割や活動の流れを理解して、自分から活動に取り組んだり、友達の取り組む姿にも関心をもって見守ったり、必要な働き掛けを行ったりする姿を引き出していきたいと考える。自分たちがやってみたいと考えたことを友達と一緒に成し遂げられることで、意欲や期待感、達成感をさらに高めていく児童の姿を期待したい。

なお、本単元では、特別支援学校学習指導要領 生活科「カ 役割」、国語科「A 聞くこと・話すこと」、算数科「C 測定」、自立活動「3 人間関係の形成」、「6 コミュニケーション」を取り扱う。

- 指導に当たっては、単元を通して児童が安心して活動に取り組むことができ、できた実感できる支援の工夫を行っていきたい。また、児童の関心や意欲が持続し、高まっていくことができるように、活動をつなげていく工夫を行うとともに、児童同士がつながる支援を行っていきたい。

児童が見通しをもって、安心して活動に取り組むために、活動の流れや活動の順番を視覚的に示す。おやつパーティーの計画から調理当日までの関心や意欲が途切れず、期待感が高まるように、単元の構成を工夫したり、児童が作成したポスターを教室に掲示し「見える化」したりする。

調理での役割については、各材料の計量等をあらかじめ分担しておく。自分の役割が明確になることで見通しをもって取り組めるとともに、他の児童の役割にも関心を持ち、言葉を掛けたり、応援したりする姿が引き出せると考える。しかし、全ての役割を事前に分担するのではなく、生地を流したり混ぜたりする活動は、予告した上で、当日くじ引きで決めることとし、誰が行うのか、順番はどうなるのかなど、児童が最後まで期待感をもって取り組むことが

できるようにしたいと考えている。6年生の児童が担う司会やお助け係についても、児童の実態に合わせた支援を行うことで、児童が自分で考えて、自分から活動に向かえるようにしていきたい。司会については、調理の手順を写真やイラストを用いためくり式のレシピにすることで、担当児童が自信をもって進行でき、他の児童にとっても今行う活動が分かるものとなるようにする。お助け係については、友達が困っているときに適切な手助けをするという曖昧な事柄を、児童が分かる形で具体的に示していきたい。事前に、以前調理を行ったときのビデオから友達への適切な関わり方を考えたり、係カードを友達に手渡すタイミングを確認したりすることで、担当児童がお助け係の役割を具体的にイメージでき、当日の友達の動きに合わせて遂行できるようにしていきたい。

教師は児童の姿を見守り、言葉掛けもできる限り控え、児童同士で対話をしながら進める姿を引き出していきたい。児童が友達と一緒に成し遂げることができたという満足感や達成感を感じ、「次はこんな風にしたい」、「もっとやってみたい」という思いを引き出すことができるように支援を行っていききたいと考えている。

## 6 単元の目標

- おやつパーティーに向けて、必要な係を考えたり、作り方や道具を調べたり、材料の計量の仕方を身に付けたりして調理に取り組むことができる。
- 自分の思いを友達に伝えたり、友達の思いを受け止めたりしながら、友達と一緒におやつパーティーに向けた準備や調理に取り組むことができる。
- 調理に向けた準備や係活動に自分から取り組んだり、友達の様子を気に掛けて目を向けたり言葉を掛けたりして、おやつパーティーに意欲や期待感をもって取り組もうとすることができる。

## 7 指導計画(全 15時間 本時:第3次 2時間目)

次	時	学 習 活 動	生活	国語	算数	自立活動
1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ おやつパーティーをしよう。(全体)</li> <li>・ パーティーの日時を知る。</li> <li>・ 「パーティー」や「みんなで」「おいしい」の意味を確認する。</li> <li>・ パーティーで作るものを決める。</li> <li>・ パーティーの目標を決める。</li> </ul>	○	○	○	○
2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 係を決めよう。(全体)</li> <li>・ パーティーで必要な係を考える。</li> <li>・ 役割分担をする。</li> </ul>	○			○
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 係の準備をしよう。(個別)</li> <li>・ 作り方を調べる。</li> <li>・ レシピを作る。</li> <li>・ 進行の仕方を考える。</li> <li>・ お助け係を知る。</li> <li>・ ポスターを描く。</li> </ul>	○	○		○
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作り方を知ろう。(全体)</li> <li>・ 係で準備してきたことを発表し、調理当日の見通しをもつ。</li> </ul>	○	○		○

		(レシピを確認する。手順の中で分担するところを決める。)				
	1	○ 系の準備をしよう。(個別) ・ 計量の仕方を確認する。	○		○	
3	3	○ おやつパーティー ・ 道具の準備をする。 ・ 調理をする。 ・ 会食する。	○	○	○	○
4	1	○ おやつパーティーを振り返ろう。 ・ 写真を見て振り返りをし、楽しかったことなどを発表する。	○	○		○

## 8 本時の目標

### ○ 全体の目標

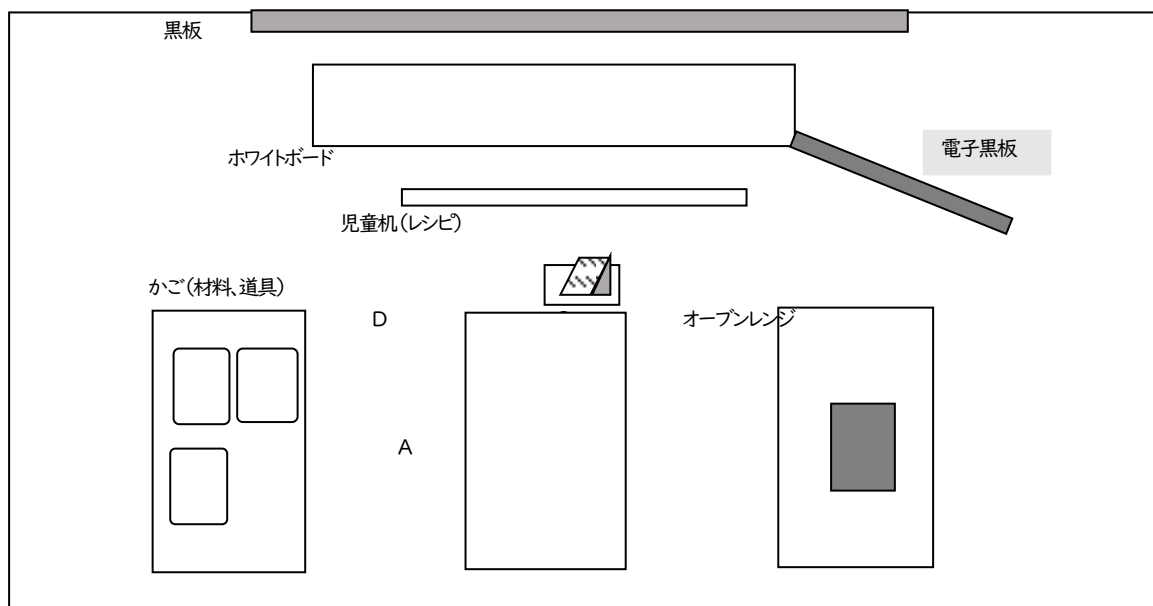
- ・ 調理の手順や、自分や友達の役割に見通しや期待感をもって、自分から活動に取り組んだり、友達の様子に目を向けたり、言葉を掛けたりして、友達と一緒におやつ作りをすることができる。

### ○ 個別の目標

A児	・ 調理の手順や役割に見通しや期待感をもって、自分からおやつ作りに取り組んだり、友達に言葉を掛けたり喜び合ったりすることができる。
B児	・ 調理の手順や自分の役割に見通しや期待感をもって、自分からおやつ作りに取り組んだり、友達の様子に目を向けたりすることができる。
C児	・ 友達と一緒に作ることや自分が役割を担うことに期待感をもって、レシピ係として進行したり、友達を気に掛け、誘ったり称賛の言葉を掛けたりすることができる。
D児	・ 友達と一緒に作ることや自分が役割を担うことに期待感をもって、自分から次に必要な物を準備したり、友達の様子を見て言葉を掛けたり、必要に応じた手伝いをしたりすることができる。

## 9 学習過程 別紙

## 10 教室内の配置図



## 11 準備物

調理道具(ボウル、泡立て器、フライ返し、大さじ、計量ばかり、かご、クッキングシート)、オープン、材料(卵、砂糖、油、ホットケーキミックス、チョコレート)、レシピ、お助け係ノート、係カード、くじ、手伝ってカード、めあて、活動の流れ



